

萬葉集講話

文學博士 澤瀉久孝

文學博士 澤瀉久孝 著

萬葉集講話



店書島來出

著者略歴

宇治山田市の人
明治二十三年生
京都帝國大學教授

〔主なる著作〕

萬葉集新釋（星野
書店）

萬葉集の作品と時
代（岩波書店）

萬葉古徑（弘文堂）

昭和七年三月廿日 印刷
昭和七年一月十五日 發行

萬葉集講話

定價壹圓參拾錢



著者

澤瀉久孝

發行者

大阪市南區竹屋町二五
出來島雅夫
會員番號一一九〇六三

印刷者

大阪市浪速區稻荷町二丁目
井村雅宥

發行所

大阪市南區竹屋町二五
出來島書店
振替大阪五四六九九番

發賣所

大阪市東區北久太郎町四
振替大阪二三一番
會社 柳原書店
東京市神田區錦町一丁目
振替東京五四一〇七番

配給元

東京市神田區淡路町二丁目
日本出版配給株式會社

は し が き

この書は、男女中等學校の初年級生徒諸子の爲に筆を執つたものであります。併し上級の方が讀まれてもよく、また國民學校を出ただけで、實務に就きながら勉強しようとされる方の參考にもならうと思ひます。或はまたそれら諸子のお母様方や國民學校の先生方に讀まれる事も多少は意識して筆をとりました。中等學校初年級用といふ事を中心にはしましたが年齢により學力により淺くも深くもうけとつてもらへるやうに相當の彈力性はもたせたつもりです。併しともかく若い初學の人の爲にしたものであつて、専門の學問の書ではありませんか

ら、學者は勿論、國文學に既に親しんで居られる方や、作歌の道にいそしんで居られる方の爲にする事は全く考へてをりません。

いはばこの書は國民の教養書としての萬葉集の講話です。

この書は萬葉集の解説書ではありません。萬葉集の時代とか作者とか歌數とか研究書とか、さういつた事は述べてゐません。それに就いては別に述べたものもあり、國民學校でも既に解説はうけられた事と思ひますから、一切はぶきました。萬葉集は歌の書物でありますから、歌そのものを正しく會得する事が根本であり、その根本の事を最初から説かうとしたのです。しかも萬葉集は單に歌人が手本にしたり、國文學に興味のある人が

讀み味はふといふだけでなしに、苟も日本人と生まれた者は、この歌集に親しみ、こゝにみづからのいのちの泉を汲み、日本人として生まれた歡をしみ、味はふべきだと思ひます。即ちそこに私達は「萬葉精神」といふものに觸れなければならぬ。しかも精神と云つたとて、歌の内容だけから抽象して考へた萬葉人の生活や思想を知る事ではありません。一首々々の歌として表現ぐるみ、聲調ぐるみに味はふべきもので、一首々々を正しく會得する事が、やがて私達自身の生活態度を正す事になるので、その意味で萬葉集は教養の書として隨一のものであると信じます。

くりかへして申しますが、この書は歌や文學に心を寄せる方はしがき

方だけの爲に書いたのではなく、苟も教養を求める、すべての若い方々の爲に書いたつもりであります。即ち萬葉の歌から人間としての私が感じたところを思ひ浮かぶまゝに述べましたので、單に歌だけの事を考へてをられる方には餘談が多すぎると思はれるかも知れません。併しその餘談のやうに見える事も、右に述べたやうに、歌からぬき出した思想や生活を述べたのでなしに、聲調ぐるみ、表現ぐるみの精神として説いたつもりであり、また手近な生活の問題も、口先だけの意見でなく、私自身の生活ぐるみの精神として述べてるところに、多少の信念があるつもりです。

併し萬葉集は古典でありますから古語の解釋が中心になる

事は當然で、時に古語の解釋がむつかしすぎると思はれる點もあらうかと思はれます。特に中等學校初年級用としては無理だといふ難もあらうかと思ひます。併し今の——といふより明治以來の——國語教育がやさし過ぎるといふのが私自身まだ中學生であつた時からの持論です。四十年に近い間私はこの持論を少しも改める必要を認めないで今日に至りました。従つてこの書に述べたところは私としては決して無理ではないつもりなのです。もしこれがむつかしいと思はれるならば、それはあなた方があまりにあまやかされてゐるのです。でなくば外國語や數學などに較べて國語を輕視してゐる爲に力がついてゐないのです。あなた方はもつと國語を尊重し國語を

勉強しないといけません。私は高等学校や専門学校の入學試験の採點もした事がありますが、一題の答案に零點を與へた事が度々ありました。數學なら一題全部だめになる事がわかるけれど國語ならば何とか書けるはずだから零點はひどいと思ひますか。日本人がその國語の答案に何とか書けるのは當然ではありませんか。何も書けなかつたらそれこそ白痴でせう。入學試験は白痴をよりわけるとは違ひます。高等教育を受けるに足るだけの國語解釋の要點がすべてはづれてゐれば零點を與へるのは當然です。この書に於てはその要點をはつきりさせる事に相當注意したつもりです。もしそれをこまかしいせんさくをしすぎるやうに思はれるなら、今迄のあなた方

があまりよいかげんに國語をあつかつてゐたからです。日本人は萬事に察しがよい。察しのよいのは結構ですが、言葉の如きも一語々々を正しく會得しないでよい加減に察してしまふのは悪い癖です。一語を不用意に見た爲にまるで反對の解釋をしてよい氣な批評などしてゐる滑稽な事があります。これはあなた方ばかりではない、一般の人をも少し國語の一語々々を尊重する必要があります。この書ではやゝ詳細に過ぎるやうな點もあらうかと思ひますが、まづ大體に於てこれ位の國語の知識は國民として必要だと思ひます。

萬葉人がいかに國語を重んじたかといふ事は本文中にも述べましたが、今の日本人はもつともつと國語尊重の念に目覺め

なければいけません。萬葉時代にはまだ今日のかながなく、漢字を借りて國語を書いてゐたに拘らず、人麻呂や赤人の歌には一語も漢語を使つてありません。この事は、今日で云へばローマ字を使ひながら外國語を一語も交へないといふのと同じやうなわけですが、今日の人は立派な國字をもち乍ら、無用な外國語濫用をして恥づる事を知らない點では、世界文明國に類のない醜態だとも云へます。一例をとつても「何々デー」などといふ不愉快な言葉が、さすがに京都では使用されないやうになつて來て喜んでゐましたが、最近また「全國防火デー」といふ文字をいやといふ程見せつけられて誠に不快になりました。國語尊重に就いては外國の例もあげたいのですが、長くなるから省

略しますが、この點だけでも私達は深く萬葉人に學ばねばならないと思ひます。

この書は大體の構想を考へた上で、草案を作らずに直ちに筆を執り、一枚の紙をも反故にせず書上げました。私にとつては全く空前のやり方ですが、かういふ性質の書物としては適當な方法ではないかと思つたからです。私が學生時代に沼波瓊音氏の徒然草講話を讀んではじめて私は徒然草に心が惹かれるやうになりました。教室で學んだ徒然草を全く見直す氣になつたのでした。あの講話を今日も一度讀返したら何と感じるかわかりませんが、私にとつて徒然草入門の書としての深い興奮を今も思ひかへす事が出來ます。私はこの書を書きつゝそ

の折の事を思ひ出しましたので遂にこの書にも講話の名をつける事にきめました。

それにしてもこの書はあまり一首々々の歌に就いて多くを語りすぎたやうにも思ひます。もし更に寸暇を得てこの續篇を書く時にはさうした態度で書いてみようかと思つてゐます。さうした折の參考にもしたいと思ひますから、この書に就いての忌憚なき讀後感を著者に寄せられるならば誠にうれしい事だと思ひます。

萬葉集の原文に就かれる方の爲に、引用の歌には、全部にわたる番號をつけておきました。大體よみ方も佐伯梅友君との共

編の新校萬葉集によつておきました。この書では僅の歌をあげただけのやうですが、それだけでもあなた方の實力は十分ついてゐるはずですから、更に進んで萬葉集そのものに親しまれる事を希望致します。

佐野の渡の寫眞は、若林芳樹君の斡旋により中野博明氏がわざわざ同地に出かけ撮影して贈られた四枚の中から選んだもので、兩氏の好意に對して厚く謝意を表します。

また索引の作製に就いては前著「萬葉の作品と時代」「萬葉古徑」と同様、増田正君を煩はしました。これまた深くお禮申します。

このはしがきを記し終つたところへ、ある新聞社の方から電

話がかゝり、對米英戦のはじまつた事を知り、まもなくラジオを通じて宣戦の大詔を拜しました。今こそ我々日本人がこの大地の上にまつすぐに立ち、しやんと坐る事の出来る日が近づいたといふ感激を強く覺えます。しかもこの書を読まれる方に對して——その大部分の方はまだ學窓に居られる事と思ひますが——今こそほんとにおちついて、しつかり勉強していただきたいと思ひます。そしてあなた方がほんとに正しい日本人らしい日本人として世に立たれる時こそ、世界に眞に正しい平和の曙の光がさしそめる時であると私は固く信じます。

昭和十六年十二月八日

澤 瀉 久 孝

目次

田兒の浦めうら出でて見れば	一
春過ぎて夏來るらし	七
いはばしる垂水の上の	毘
ひさかたの天の香具山	五
秋萩の枝もとをゝに	壺
みたゝしの島の荒磯を	堯
妹として二人つくりし	允

目 次

二

苦しくも降りくる雨か	六
熟田津に船乗せむと	三
わたつみの豊旗雲に	四
ものゝふのやそ宇治川の	六
よし野なる菜摘の川の	七
わがやどのいさゝ群竹	八
夕されば小倉の山に	九
索引	一

……終……